

川根本町 図書室だより

8月

2020年8月号

- ・文化会館図書室(小長井)
 - ・山村開発センター図書室(上長尾)
 - ・移動図書館車やまびこ号:川根本町内7コース
- TEL:0547-59-3106(文化会館)
TEL:0547-56-2231(山村開発センター)

☆ 開室時間:午前9時~午後5時

☆ 休室日:月曜日・第3日曜日(16日)・祝日翌日(11日)

☆ やまびこ号巡回コースは

川根フォン、町のホームページでご確認いただけます。なお、年間予定表は図書室で配布しています。



PICK UP!

新 着 図 書



『実行力 結果を出す「仕組み」の作りかた』

橋下徹著 PHP研究所

橋本流「君主論」の思考

【実用】 文



反対派の配置、リーダーと現場の仕事の切り分けかた、チーム作りの「失敗の本質」、メールの活用法...。年上の部下や並みいる反対派を説得・掌握し、大阪の大改革へと舵を切った著者が、マネジメントの要諦と仕事術を公開する。

『育毛のプロが教える髪が増える髪が太くなるすごい方法』

辻敦哉 著 アスコム

最強の育毛「粉シャンプー」を紹介! 【実用】 山



男性も女性も、どんなタイプの薄毛にも効果を発揮する、天然成分の「粉シャンプー」の作り方を紹介。正しいヘアケア法、育毛マッサージ&食事法なども伝える。動画が見られるQRコード付き。

『ビジュアルパンデミック・マップ 伝染病の起源・拡大・根絶の歴史』

サンドラ・ヘンペル 著
日経ナショナル
ジオグラフィック社

感染症の流行と対策の歴史

【栄養学】 文

ペスト、インフルエンザ、エイズ、ジカ熱...。20の感染症を取り上げ、データをもとに感染経路や終息の例、感染地域などをわかりやすく地図化。感染のきっかけ、病原体発見の感動等をストーリーでやさしく紹介する。



『フューチャー・オブ・マインド 心の未来を科学する』

ミチオ・カク著 NHK出版

脳研究の最先端

【実用】 山

テレパシー、記憶の増強、AI...。SFが現実になる! 理論物理学の権威であり、語りの手でもあるカク博士が、「心」をめぐる科学の最前線と、そこから導かれる驚愕の未来図を語る。第一級のサイエンス・ノンフィクション。



◎ 新着図書

新刊の詳しい情報は、
【川根本町図書ネット】で検索

文化会館図書室所蔵

山村開発センター図書室所蔵

●『不良』 北野武著 集英社

ときは1960年代。中学の入学式で出会った少年・キーちゃんが、茂の運命を決めた…。無鉄砲で儂い10代の少年たちを、時代と土地の匂いそのままに描き出す、青春バイオレンス小説。

小説

●『きたきた捕物帖』 宮部みゆき著 PHP研究所

江戸は深川、親分の跡を継いで岡っ引きたらんとする北一が、相棒・喜多次やおかみさんの力を借りて成長し、事件を解決していく謎解き×怪異×人情の捕物帖シリーズ、第1弾。

小説

●『家族じまい』 桜木紫乃著 集英社

認知症の母と、齢を重ねても横暴な父。両親の老いに姉妹は戸惑い、それぞれ夫との仲も揺れて…。大人の諦観と慈愛に満ちた長編小説。

小説

●『流浪の月』 凧良ゆう著 東京創元社

愛ではない。けれどそばにいたい。再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。新しい人間関係への旅立ちを描いた長編小説。2020本屋大賞。

小説

●『じんかん』 今村翔吾著 講談社

天正5年のある晩、織田信長のもとへ急報が。信長に忠誠を尽くしていたはずの松永久秀が2度目の謀反を企てたという。だが、意外にも信長は笑みを浮かべ、語り出したのは…。

小説

●『奈落で踊』 月村了衛著 朝日新聞出版

ノーパンすき焼きスキャンダルが発覚し、大蔵省に危機が訪れる。大物主計局長、暴力団幹部、総会屋総帥、政治家らの思惑が入り乱れるなか、霞が関のダークヒーロー・香良洲圭一が現れ…。

小説

●『ヒポクラテスの試練』 中山七里著 小峰書店

急激に悪化する謎の“肝臓がん”。相次ぐ不審死は、未曾有のパンデミックの始まりなのか？ 死者の声なき声を聞く、法医学ミステリー・シリーズ第3弾。『小説NON』掲載を単行本化。

小説

●『金子と裕而 歌に生き愛に生き』 五十嵐佳子著 朝日新聞出版

ともに音楽を愛する裕而と金子は、文通を通じた大恋愛の末に結婚する。戦後、疲れ果てたこの国に人びとを励ますために寝食も忘れて曲を作り続ける裕而に、金子は。天才作曲家と彼を支え続けた妻の物語。

小説

●『ライフ・アフター・ライフ』 ケイト・アトキンソン著 東京創元社

スペイン風邪で、海で溺れて、フューラーと呼ばれる男の暗殺を企てて…。何度も生まれては死亡するアーシュラ。かすかなデジャヴをどこかで感じながら、幾度も的人生を生きるひとりの女性の物語。

小説

●『線は、僕を描く』 砥上裕将著 講談社

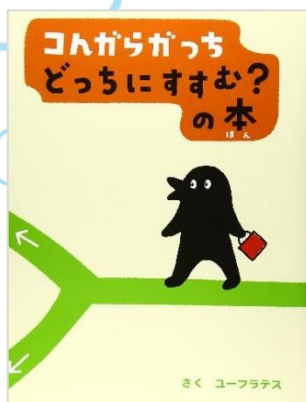
両親を事故で失い、喪失感の中にあつた大学生の霜介は、バイト先で水墨画の巨匠・篠田湖山と出逢った。なぜか湖山に気に入られた彼はその場で内弟子にされてしまうが、湖山の孫・千瑛は、それに反発し…。2020本屋大賞3位。

小説

おすすめ

本

(山村開発センター所蔵)



『コンガラガっち どっちにすすむ？の本』

ユーフラテスさく 小学館

この本は指で道→をたどって読み進める絵本です。コンガラガっちせいぶつの主人公いぐらがワクワクする好きな道→を選んでゆかいなゴールへ進む！というお話。笑ってしまうユーモアと躍動感。何度も選べて読める所も楽しい♪ 後書きメッセージからはこの絵本の温度も伝わってきます。

日常は選択の連続。だからベクトル→はココロ/ハートが望む方へ。その先のじぶんが創りだすアドベンチャーワールドを絵本のように楽しんでみる。

進む世界はどんどん広がります。

図書室スタッフN子(^_^)